

きらり 通信

平成25年9月26日(木)発行 第14号

福島県立須賀川養護学校

tel: 0248-76-2511 fax: 0248-72-4729

ホームページ <http://www.sukagawa-sh.fks.ed.jp>



「ぼたんちゃん」が須養のいいところ伝えます

教頭 最上 学

夏休みが明けてから、学校の玄関に牡丹の花のかわいい子がにこにこ顔をのぞかせています。名前は「ぼたんちゃん」。学校の子もたちと仲良くなって、学校のいいところをみんなに知ってもらいたくて、いつも玄関にいます。

子どもたちのがんばり、先生方の懸命さ、須養がどんな学びの場なのか、学校の外のみなさんに分かってもらうことから、子どもたちが地域で過ごしやすい場を作りたいと考えています。また、「須養を知らなくて学ぶ機会が得られなかった」ということのないように、学校紹介の発信を多くしていきます。

ぼたんちゃんの小さなカードが玄関にあります。ぼたんちゃんをいろいろなところに連れて行ってください。そして、たくさんの友達を作ってくださいね。

ぼたんちゃんが 須養のいいところ伝えます

- ・ 病気の治療をしながら勉強できるのよ
- ・ 進学や就労の夢をめざすのよ
- ・ 病状や個の力にあわせた
学び合いができるのよ



・ ぼたんちゃんは、これからも須養のいいところを見つけて
たくさんの人に伝えていきます。どうぞよろしくね

ぼたんちゃん



お子さんの「いいところ」のを見つけ方

～「児童生徒の心のケアに関する研修会」から～



よく「お子さんのいいところを褒めましょう」と言われますが、必死になって探す時ほど「困ったところ」ばかりが目についてしまいます。「いいところ」を「人より優れているところ」と考えるとますます見つかりません。そこで、「児童生徒の心のケアに関する研修会」の講師としてお招きした**浜松医科大学の辻井正次先生**から教えていただいた方法をご紹介します。

それは、「いいところ」を「今できている行動(=適応行動)」ととらえる見方です。「朝起きた」「ご飯を食べた」「挨拶ができた」などあたり前に思えることであっても、**今できていること(=適応できていること)こそが「いいところ」**。そう考えると、具体的に褒めることのできる場面が増えそうです。ひとりではできなかったとしても、誰かの力を借りながら何とかなっていることも実はたくさんあります。「手助けがないとできないこと」は見方を変えれば、少しの工夫や代わりの方法があればできるようになる「努力しているところ」。そんな風にお子さんの行動を見つめ直すことでかかわる大人にもゆとりが生まれ、褒める機会も増えていくのではないのでしょうか。

(文責 星)

伝えたいことはことばだけで伝わっているのでしょうか？

「大人からの指示がないと動けない」「指示を繰り返しても行動につまずいてしまう」と、困っていることはありませんか？頑固だから反抗的だからと思われてしまうことも多いようですが、実は、耳から入ることばは一瞬で消えてしまうので保つことが難しかったり、耳から入った情報の理解が苦手だったり、お子さん自身も困っていることも多いようです。いつでも大人がそばについていられるわけにはいきません。何度も繰り返してことばかけをすると、お互いにストレスを感じてしまいます。

例えば・・・

昼食の準備

登校から
教室まで

1. おしぼり
2. 「しぼってください」
3. はし、スプーン、フォーク
4. しまう
5. コップとココア
6. 「まげてください」
7. しまう



お子さんに合わせた伝え方を

- 1 何を使って示すのか？
 - ・実物
 - ・絵カード・写真カード
 - ・絵と文字の組み合わせ
 - ・文字カード
 - ・文字のリスト
- 2 どこまで示すのか？
 - ・次のこと
 - ・2～3個
 - ・ひとつの活動の終わりまで
 - ・1日の予定

視覚的な情報を「見て、確認して、動く」方法を学習すると、一つの行動をひとりですることができるための手がかりとすることができます。

お子さんに伝えたいことがことばだけで本当に伝わっているか、もう一度見直してみてもいいのではないでしょうか？

(文責 佐藤)

☆きらりちゃん日記☆

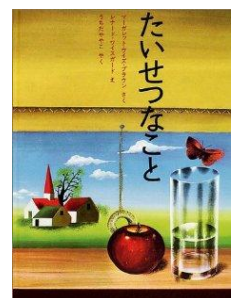


「どうして」と聞いて気持ちを確認することは大切ですね！うまく言葉にできない様子のときには、気持ちを推察して代弁してみましょ。子どもは話しやすくなりますし、その子の「言葉」を増やすことにもつながります。(大場)

本の紹介

今回紹介するのは、秋の夜長におすすめの「大人のための絵本」2冊です。

1冊目はマーガレット・ワイズ・ブラウン作、レナード・ワイズガード絵、うちだややこ訳の『たいせつなこと』です。「スプーン」にとってたいせつなこと、「くつ」にとってたいせつなこと…様々なものにとってたいせつなことがシンプルに語られていきます。「あなた」にとってたいせつなことは…？



2冊目は、シェル・シルヴァスタイン作・絵、倉橋由美子訳の『ぼくを探しに』です。「何か足りない それでぼくは楽しくない」ころがりながら、野を越え、海を越えて足りないかけらを探す旅。かけらは見つかるけれど、小さすぎたり大きすぎたり、壊してしまったり。とうとうぴったりのかけらに出会うのですが…。

忙しい毎日の中でつつい頑張りすぎて疲れてしまう、そんな時にぜひ手にとってみてください。(文責 大場)